

取付け・取外し方法

ファブリック製品

対応製品：ラインドレープ 標準タイプ

必要工具：プラスドライバー、ハサミ

難易度 ★★（工具等があれば一般の方でも比較的簡単にできます）

※ご発注時期により部品形状等異なる場合がありますが、注記がない作業は同様に行えます。

また、注記にある時期は目安ですので実物にてご確認ください。

▶ 製品の取付け

1 取付けブラケットの取付け

■正面付けの場合



■天井付けの場合

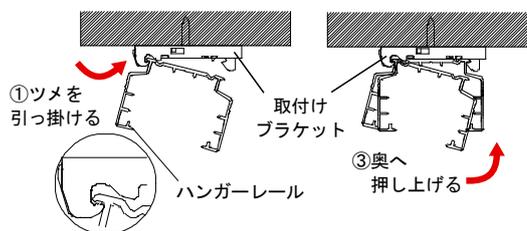


ハンガーレールが水平になるよう注意しながら、レールの端から 60～80mm 内側に取付けブラケットをビスで固定してください。

※取付けブラケットが 3 個以上の場合は、両端の取付けブラケット間を均等にした位置に取付けてください。

2 ハンガーレールの取付け

■正面付け（ブラケット付け）・天井付け（ブラケット付け）



※図は天井付け（ブラケット付け）の場合

■天井付け（直付け）



- ①ハンガーレールを両手で持ち、取付けブラケットの手前のツメにハンガーレールを引っ掛けてください。
- ②ハンガーレールを取付けブラケットに取付けた状態で左右のバランスを見て位置を決めてください。
- ③ハンガーレールを矢印の方向にもっていき、「カチッ」と音がするまで押し上げてください。
- ④全ての取付けブラケットに確実に固定されていることを確認してください。

- ①ハンガーレールにはあらかじめビス止め用の穴があいていますので、施工の際はそこの穴を利用し、ビスで固定してください。
- ②ハンガーレールが確実に固定されていることを確認してください。

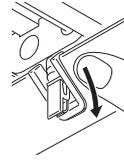
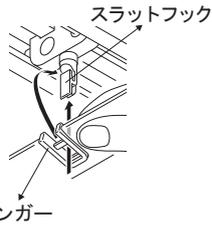
3 チルトポール（バトン）の取付け



操作部についているフックにチルトポール（バトン）のフックを引っ掛けてください。

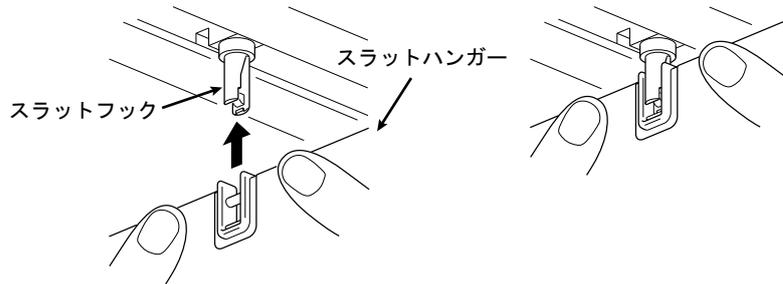
4 スラットの取付け

平成23年6月以前



- ①チルトポールまたは、バトンを回転させてハンガーレールのスラットフックの向きを合わせます。
- ②スラットフックにスラットハンガーの穴を通します。
- ③スラットハンガーを軽く下へ引きスラットフックに吊ります。
- ④スラットハンガーが垂直になるように軽くひねりセットします。

平成23年7月以降



- ①チルトポールまたは、バトンを回転させてハンガーレールのスラットフックの向きを合わせます。
- ②スラットフックにスラットハンガーを押し込みます。

5 ボトムコードの取付け ※写真は巻き込み仕様の場合



- ①スラットを一度ハンガーレールに対して垂直にしてから、ボトムコードをバランスウェイト上部のフックに掛けていきます。



- ②すべてのバランスウェイトの両端にボトムコードを掛け終わったら、余分なコードを切ってください。

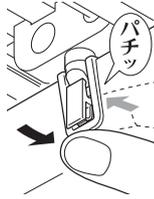
▶ 製品の取外し

1 ボトムコードの取外し

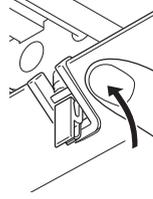
スラットを一度ハンガーレールに対して垂直にしてから、ボトムコードをバランスウェイト上部のフックからはずしてください。

2 スラットの取外し

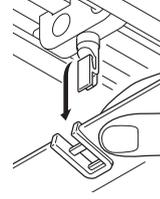
平成23年6月以前



①チルトポールもしくはボタンを回転させて、スラットがハンガーレールに対し、垂直（全閉状態）になるように調節します。



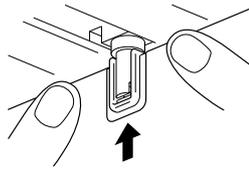
②スラットハンガーを矢印の方向に倒します。「パチッ」と音がします。



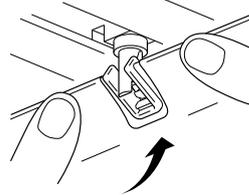
③スラットハンガーを矢印方向に持ち上げます。

④スラットフックからスラットを抜き取ります。

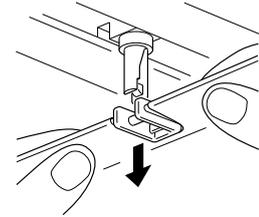
平成23年7月以降



①チルトポールもしくはボタンを回転させて、スラットがハンガーレールに対し、垂直（全閉状態）になるように調節します。



②スラットハンガーを矢印の方向に持ち上げます。



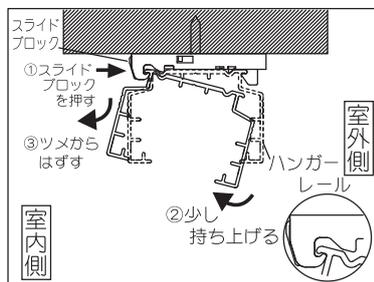
③スラットハンガーを手前に傾けます。

④傾けたまま真下に降ろし、スラットフックからスラットハンガーを外します。

3 ハンガーレールの取外し

正面付け（ブラケット付け）・天井付け（ブラケット付け）の場合

ハンガーレールを支えた状態で、取付けブラケットのスライドブロックを押し、ハンガーレールを少し持ち上げるようにして取外してください。
※危険防止のため、ハンガーレールが落下しないように製品を手で押えながら作業をしてください。



天井付け（直付け）の場合

ハンガーレールが落下しないように、製品を手で受けてから取付けられているビスを緩め、ハンガーレールを取外します。
※ビスがランナーの位置と重なっている場合、誘導操作を行いランナーを移動させてからビスを外してください。
※危険防止のため、ハンガーレールが落下しないように製品を手で押えながら作業をしてください。